

様式 1 5

霞ヶ浦医療センターを受診された患者様へ

- * 当院では、下記の臨床研究を実施しております。
- * 研究は全て当院倫理審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けております。
- * 本研究の対象者に該当する可能性がある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合また質問等おありになる場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。
- * もし、診療情報提供をご了解いただけない場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。
- * 研究はあくまで日常診療から集積された既存の診療情報を利用するものであり、新たに患者の皆様にかかる負担が生じることはございませんので、ご安心ください。

研究課題名 (承認番号)	胎状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査研究 (30-14)
研究責任者氏名 (部門)	新井ゆう子 (産婦人科)
研究の対象 (期間)	2014年1月31日より2016年12月31日までの間に、胎状奇胎の診断で掻爬を受けた患者さん
研究の目的	胎状奇胎に対し、日本では2回の掻爬を行い管理することが推奨されていますが、海外では通常1回の掻爬のみで管理されているため、大規模な調査を行い、再掻爬が必要かを確認することを目的としています。
研究の概要	胎状奇胎は1000妊娠あたり約2の頻度で発生し、一部に続発症の発症が報告されています。日本では、従来2回掻爬を行ってできる限り子宮内容を除去し、続発症について慎重に管理することが推奨されてきましたが、海外では、通常1回の掻爬のみで管理されています。日本でも、状況によって1回の掻爬のみで管理されている施設もあると考えられており、患者さんのカルテより以下の項目について大規模な調査を行うことで、掻爬回数と続発症の発生頻度などを解析し、胎状奇胎除去術後の再掻爬の有用性を検討するための研究です。
研究に使用される項目	年齢、妊娠歴、分娩歴、治療前hCG測定の有無、治療前hCG値(mIU/ml)、初回治療年月日、初回治療時妊娠週数、初回治療施設、初回治療手術手技、病理診断、免疫染色、DNA診断の有無、初回治療後hCG測定の有無、初回治療後hCGの測定日、初回治療後hCG(mIU/ml)、初回治療後経腔エコー診察の有無、初回治療後経腔エコー施行時の子宮内膜厚、再掻爬の有無、再掻爬ありの場合の時期、再掻爬の施設、再掻爬の手術手技、再掻爬の病理診断、初回治療より6か月以内の続発症の有無、続発症ありの場合の診断、続発症の部位、初回掻爬時の手術合併症の有無、再掻爬時の手術合併症の有無、合併症があった場合の合併症の内容
個人情報の保護について	本研究で取り扱う患者さんの情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものかわからない形で日本産科婦人科学会に提供されます。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。
共同研究機関の有無 (名称、責任者氏名)	日本産科婦人科学会「胎状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査小委員会」事務局 担当者 九州大学医学部 産婦人科助教 兼城英輔 TEL:092-642-5395 (内線2216)、FAX:092-642-8582 Email:kaneki@med.kyushu-u.ac.jp 研究責任者 福岡大学医学部 産婦人科教授 宮本新吾
備考	